

<令和4年度秋季大会ミニシンポジウム企画>

地域共創による水産業の活性化

日時・場所：令和4年9月7日（水） 9:00-12:10

企画責任者：都木靖彰（北大院水）・竹村明洋（琉球大理）・征矢野 清（長大海セ）

- 9:00- 9:05 開会の挨拶・企画の趣旨説明 都木靖彰（北大院水）
- 座長： 征矢野 清（長大海セ）
- 9:05- 9:30 1. 北海道における「共創の場」の取り組み 石井一英（北大院工）
- 9:30- 9:55 2. 持続可能な陸上養殖構築に向けた「養殖シミュレータ」の開発 高橋勇樹（北大院水）
- 座長： 都木靖彰（北大院水）
- 9:55-10:20 3. 沖縄県における「共創の場」の取り組み 竹村明洋（琉球大理）
- 10:20-10:45 4. 若者が考える陸上養殖の未来とは 宇田川伸吾（琉球大研推）
- 10:45-10:55 休憩
- 座長： 竹村明洋（琉球大理）
- 10:55-11:20 5. 長崎県における「共創の場」の取り組み 征矢野 清（長大海セ）
- 11:20-11:45 6. 海面養殖のこれからの在り方 細川貴志（日東製網/長大海洋未来イノベーション機構連携研究員）
- 座長： 浦 和寛（北大院水）
- 11:45-12:05 総合討論
- 12:05-12:10 閉会の挨拶 征矢野 清（長大海セ）

企画の趣旨

水産業の課題として、魚病・赤潮等の被害、飼料コストの増加、収入の不安定性、就業者数の減少、後継者不足などが挙げられる。これら数々の問題を解決するためには、大学、研究機関、自治体、企業など多様なステークホルダーを巻き込みながら、地域の独自性や強みに基づく産学官民金融での共創拠点を形成し、地域の水産業を活性化

していくことが必要不可欠である。本シンポジウムでは、JSTの「共創の場支援プログラム」に採択された、北海道大学、長崎大学、琉球大学の3大学における持続可能な水産業を達成するための、それぞれの地域での課題とそれらを解決するための取り組みについて紹介し、地域に根ざした水産社会の未来像について議論したい。